

## 鴨川等の中州管理について

## ■ 二条大橋から上流の断面の現状

＜西賀茂橋～御園橋間の断面でチェックした場合＞

中州が発達した現状の流下能力  $750 \text{ m}^3 / \text{s}$

整備計画上必要な流下能力  $650 \text{ m}^3 / \text{s}$

※現状の断面においても、流下能力上の余裕があるが、このまま放置することで流れが阻害され流下能力が下がる。

※今回の中州管理により80%の中州を除却することで流下能力が向上する。

## 【参考】

中州管理の基本的な考え方

年間流れてくる土砂量  $\text{約 } 5,000 \text{ m}^3$

現在の中州堆積土量  $\text{約 } 50,000 \text{ m}^3$

中州管理を行わなかった場合の土砂量  $\text{約 } 74,000 \text{ m}^3$   
(現在+堆積量×10年)

→いずれは必要な流下能力を脅かすものとなる

10年サイクルの年搬出土量  $\text{約 } 5,000 \text{ m}^3$   
(中州の一部存置)